

(様式1)

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業

研究実践計画書

1 学校名

恵那市立大井小学校

2 研究実践の概要

(1) 地域素材のVODデータベースの構築

総合的な学習の時間における「ふるさと学習」をメインに、自分たちの住んでいる地域についてより深く追究していく過程において、動画や大きな容量の情報の活用方法を研究的に探る。とりわけ、本校では地域に住む人々、地域の河川の自然、中山道大井宿について画像、動画を記録、累積し教材化していく。

(2) 「わかる授業、楽しい授業」の実施

各教科における授業で利用できる一般のHPを授業の中で資料として活用し、教科のねらいに迫ることができる授業を展開する。また、授業実践を累積し、次年度以降より深化させる。

(3) 高速大容量回線を用いた学校間等の連携

総合的な学習の時間における「ふるさと学習」を軸に自分たちの住んでいる地域や人々について、TV会議システムを利用し他校に紹介していく中で、自分たちの地域をより深く知ることや、他校、他地域の様子を知ることによって自分なりのものの見方や考え方を深めていく。また、これらの研究開発事例を累積し、学年別の報告をHP上で公開していく。

3 年間計画

月	研 究 内 容	備 考
4	今年度の次世代ITを活用した授業の方向	
5	次世代IT機器の活用事例紹介	
6	授業公開（総合：5年TV会議・大井小学校の紹介）	
7	授業公開（総合：4年TV会議・川の水を守る取り組み発表）	
8	次世代IT機器の活用方法実践研修	
9		
10	授業公開（社会科：6年TV会議・広島海田小と戦争について交流）	
11	研究授業（社会科、総合：5年TV会議・市内他校へ社会見学の報告）	
12		
1	授業公開（生活：1年TV会議・市内の学校と学校自慢の紹介）	
2	授業公開（社会科、総合：4年TV会議・他県とお互いの県の紹介）	
3	本年度のまとめ（成果と課題）	

＊随時、実践したものについてはHP上に掲載していく。